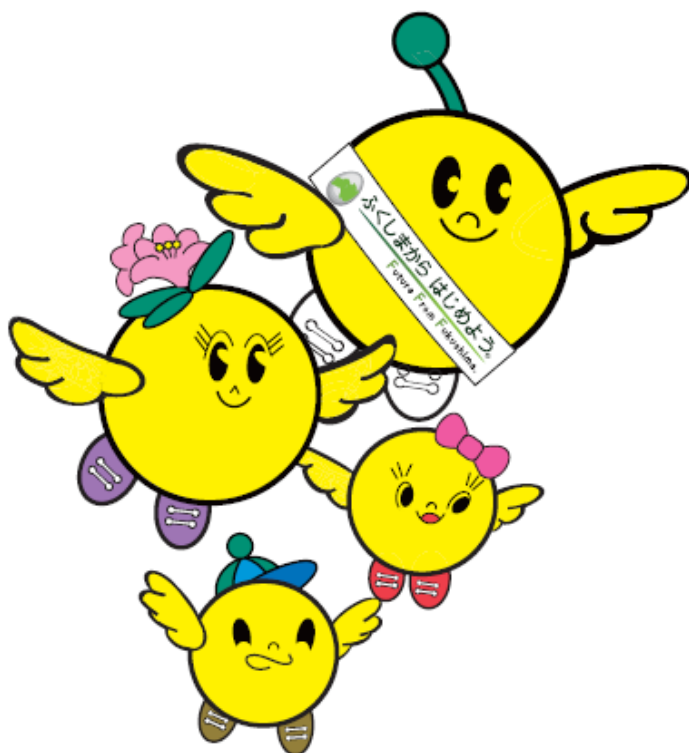


# 福島県東日本大震災子ども支援基金

## 事業報告書



福島県復興シンボルキャラクター  
「ふくしまから はじめよう。キビタン」

福島県  
〔平成29年度版〕

## ご あ い さ つ



平成23年3月の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から6年余が経過いたしました。

この間、国内外の多くの皆様から様々な御支援をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

震災と原発事故後、前例のない困難な状況が続く中、今年3月から4月にかけて、川俣町、浪江町、飯舘村、富岡町の4町村の居住制限区域、避難指示解除準備区域が解除されるなど、避難地域の復興に向けた取組とともに、福島の復興は着実に前に進んでおります。一方で、今なお多くの方々が避難生活を続けられており、風評と風化の2つの逆風など、原子力災害という重荷を背負った福島の復興はいまだ途上にあります。

こうした中、被災した子どもたちを長期的、継続的に支援するため、皆様からお寄せいただいた「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」を活用し、保護者が死亡したり行方不明となった児童（遺児・孤児）に対する支援に加えて、本県の子どもたちが、様々な困難を乗り越え、心身ともに健やかに育つための施策に活用させていただいております。

本県に心を寄せてくださる全ての方々と力を合わせて、ふくしまの明るい未来を切り拓いてまいりますので、今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

平成29年7月

福島県知事 内堀 雅雄

## 福島県の被害状況

平成23年3月11日14:46に三陸沖を震源として発生した「平成23年 東北地方太平洋沖地震」は、マグニチュード9.0を記録し、観測史上最大の地震でした。

最大震度7を記録した激しい揺れとともに、広い範囲で大津波が押し寄せました。



※県浜通り北部（南相馬市、相馬市の状況）

本県では、東日本大震災により、多くの子どもたちが親を失いました。

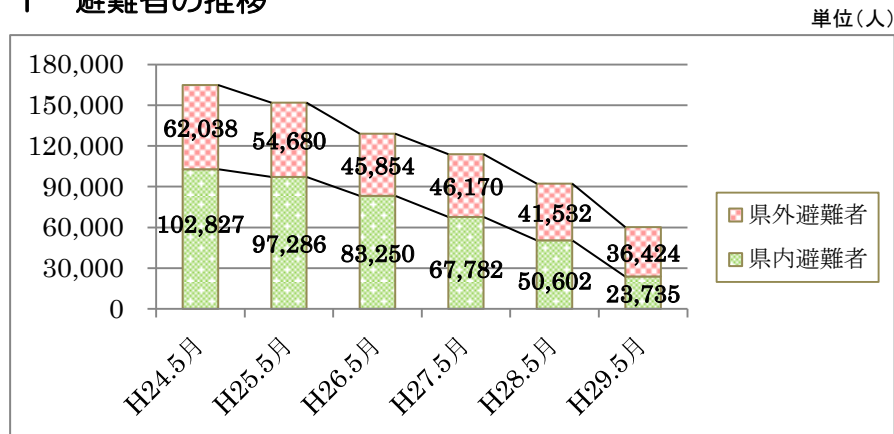
加えて、原子力災害により、住み慣れた土地からも離れなければならない子どもたちも多く、様々な喪失体験により、幼い心に多大なる負担がかかっています。

しかしながら、このような状況においても、子どもたちが震災前に抱いていたそれぞれの夢をあきらめることなく、着実に前に進んでいくことができるよう、皆様からの善意の寄附をいただき、長期的な支援を行っていきたいと考えております。

## 福島県の避難者の状況

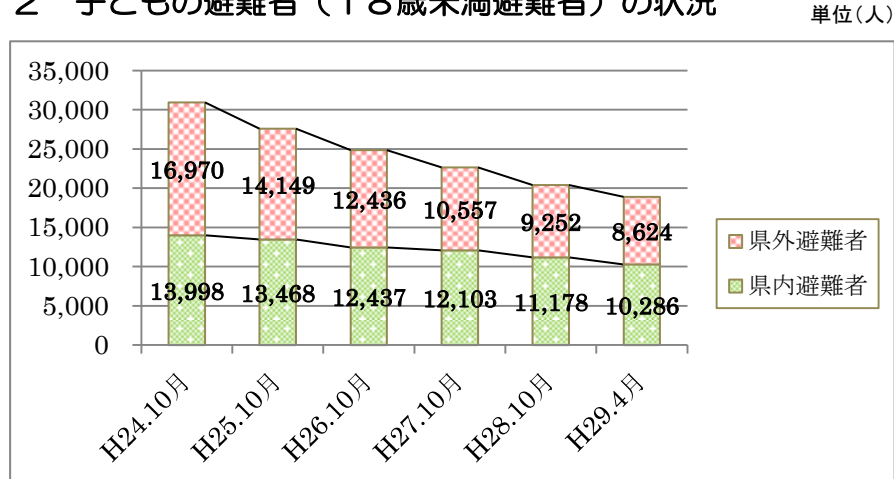
避難者数は、平成24年5月をピークに減少を続けておりますが、平成29年5月時点で約6万人の方々が避難を続けています。

### 1 避難者の推移



出典：福島県災害対策本部公表資料

### 2 子どもの避難者（18歳未満避難者）の状況



出典：福島県子ども・青少年政策課調べ

## 「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」について

福島県では、平成23年8月から東日本大震災による震災孤児等への支援のための寄附口座「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」を開設しています。

#### ○ 寄附の状況（平成29年3月31日現在）

寄附件数 14,128件 寄附額 5,444,178,302円

#### ○ 被災孤児、遺児（平成29年3月31日現在）

・孤児：24人（孤児：両親若しくは単親の場合、現に養育していた親が死亡又は行方不明となった児童）

・遺児：174人（遺児：両親のうちいずれかが死亡又は行方不明となった児童）

## 「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」について

### 1 福島県東日本大震災子ども支援基金給付金

福島県東日本大震災子ども支援基金条例を制定し、東日本大震災ふくしま子ども寄附金を基金に積み立て、東日本大震災により、保護者が死亡又は行方不明となった児童（孤児・遺児）に対して、生活及び修学を支援するための給付金を給付する事業を実施しています。

**1 対象者** 東日本大震災により保護者が死亡し又は行方不明となった児童

**2 給付期間** 大学等卒業までの期間

#### 3 給付金の種類及び金額

##### (1) 月額金

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| ア 未就学児童           | 月額（孤児：30,000円、遺児：20,000円） |
| イ 小・中学校に在籍する者     | 月額（孤児：40,000円、遺児：30,000円） |
| ウ 高等学校等に在籍する者     | 月額（孤児：50,000円、遺児：40,000円） |
| エ 大学及び専門学校等に在籍する者 | 月額（孤児：60,000円、遺児：50,000円） |

##### (2) 一時金

- |              |          |
|--------------|----------|
| ア 小学校入学時給付金  | 30,000円  |
| イ 小学校卒業時給付金  | 50,000円  |
| ウ 中学校卒業時給付金  | 100,000円 |
| エ 高等学校卒業時給付金 | 300,000円 |

#### 4 給付実績（平成29年3月31日現在）

給付実人員 190人 総給付額 415,460,000円

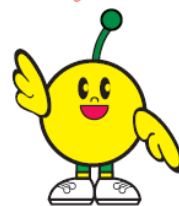
### 2 「ふくしま子ども寄附金」による新たな支援について

平成24年12月県議会において福島県東日本大震災子ども支援基金条例の改正が議決され、震災孤児・遺児の支援に加えて、支援の対象を県内全域の子どもたちへと拡大し、下記の5つの視点から新たな支援を行っています。

#### 【新たな支援の5つの視点】

- ① 災害・避難等により不便を強いられている子どもへの支援
- ② 子どもたちの将来につながる取組
- ③ 子どもたち及び保護者が元気になる取組
- ④ 子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取組
- ⑤ 子どもたちの本県復興への参画

次ページ以降で  
紹介します





## ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業

### 1 事業概要

将来、医療の仕事に携わり、本県の復興及び社会に貢献したいと願う子どもたちの夢の実現に向け、中学生を対象に「医療体験セミナー」や「医学教室」、高校1年生を対象に「地域医療体験セミナー」、高校2年生を対象に「メディカルセミナー」を実施し、講話をはじめ、医療機関の見学や実習体験等を通して職種への理解を深めるとともに地域医療への関心を高め、医療人材の育成を図る。



### 2 事業実施時期

- ・医療体験セミナー 平成28年8月11日(木)
- ・医学教室 平成28年11月5日(土) ～ 平成29年2月11日(土) 7回開催
- ・地域医療体験セミナー
  - 第1回 平成28年8月8日(月) ～ 8月19日(金)
  - 第2回 平成29年2月18日(土) ～ 3月22日(水)
- ・メディカルセミナー【看護】7月10日(日)  
【医学】7月16日(土)及び17日(日)

### 3 参加者数

- ・医療体験セミナー 390名
- ・医学教室 46名
- ・地域医療体験セミナー 第1回 90名 第2回 198名
- ・メディカルセミナー【看護】103名【医学】82名

### 4 事業実施による効果

医療の仕事の興味・関心を持つ中学生や高校生に対して、本県の医療の現場での講義や体験学習等を通して、本県の復興に医療面から貢献しようとする意志を培い、将来の夢をより具体化した。

### 5 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課 (TEL: 024-521-7772)

福島県保健福祉部 医療人材対策室 (TEL: 024-547-1711)



## ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業

### 1 事業概要

県民参加の森林づくり活動を推進し、豊かな森林を次世代へ継承していくため、次代を担う子どもたちが森林を守り、育てる活動を支援する。

### 2 実施時期及び参加者数

- ・ 県内交流会 ①平成28年8月7日（日） 131名
- ・ 県外交流会 ②平成28年7月27日（水）～7月29日（金） 9名
- ③平成28年10月7日（金）～10月9日（日） 6名

### 3 事業実施による効果

震災以降、野外で活動する機会が少なくなり、子どもの運動能力が低下する現状にあることから、子どもたちが緑とふれあう機会を通して、森林づくりへの関心を高め、森林や自然環境に対する理解を深めるとともに、子どもたちの心と体を癒し豊かな心と健やかな体を育んだ。

### 4 お問い合わせ先

福島県農林水産部 全国植樹祭推進室（TEL：024-521-8628）





## 夢に向かってテクノチャレンジ事業

### 1 事業概要

特別支援学校高等部で取り組んでいる進路に関する学習について、全ての学校が一堂に会して成果発表したり、外部専門家からの客観的な評価を受けたりすることを通して、生徒の学力や技能、意欲の向上を図り、震災から立ち上がり自信をもって生きることが出来る生徒の育成を目指す。

### 2 事業実施時期

平成28年7月27日（水）

### 3 参加者数

1,039人（総入場者数）



### 4 事業実施による効果

参加生徒は緊張感をもって検定に臨み、外部の専門家から客観的な評価を受ける貴重な機会となった。検定結果については、履歴書に記載するなど、就職活動に活かすことができつつある。

また、福島県内の高等部設置特別支援学校17校が一堂に会することができ、他校の取組状況について情報交換を行い、各校の学習の充実に繋げている。

### 5 お問い合わせ先

福島県教育庁 特別支援教育課（TEL：024-521-7780）







ふくしまパフォーミングアーツプロジェクト

1 事業概要

本県の子どもたちが、プロの演劇作家・音楽家等のアドバイスを得ながらミュージカルの創作・公演を行った。

2 事業実施時期

平成28年4月～平成29年3月

3 参加者数

延べ885名



4 事業実施による効果

県内各地から中学生・高校生がプロジェクトに参加し、協力してミュージカルを創作・公演開催までの過程を通じて、子どもたちの創造する力を育むことができた。また、練習状況等、公演に向けた情報を県内外に発信したことで、マスコミ等にも広く取り上げていただくとともに、県外からも大勢の方が来場し、復興に向けた福島現在の姿を県内外の方々に感じてもらうことができた。

5 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 文化振興課 (TEL: 024-521-7154)

公演の様子 撮影：石川直樹 氏



## サッカーを通じたふるさと再生事業

### 1 事業概要

東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所の事故により一時移転を余儀なくされたJFAアカデミー福島選手やスタッフを招き、いわきFCと連携して子どもたちと「ふれあいサッカー教室」を実施した。



### 2 お問い合わせ先

福島県企画調整部 地域政策課

(TEL: 024-521-7102)

11月20日

ふれあいサッカー教室

## NPO強化を通じた若者定着・地域活性化事業

### 1 事業概要

本県の高校生・大学生が、NPO法人において1週間程度のインターン活動を行うことで、地域の課題解決などについて学び、体験する場を提供した。

### 2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 文化振興課 (TEL: 024-521-7179)

## ジャーナリストスクール開催事業

### 1 事業概要

未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興、文化、スポーツといった様々な分野で活躍している個人・団体取材し、情報を発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会を提供した。



### 2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 生涯学習課 (TEL: 024-521-7784)

## 未来へチャレンジ！ふくしまスポーツ塾

### 1 事業概要

運動が苦手な本格的なスポーツ体験等への参加に抵抗のある子どもたちに対し、スポーツ・レクリエーションを通じて身体を動かす楽しさを伝える。

また、世界で活躍するトップ選手や指導者などとの交流を通じて、スポーツの楽しさや達成感の共有に加え、豊かな国際感覚を持った青少年の育成を図る。



### 2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 スポーツ課（TEL：024-521-7795）

## ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業

### 1 事業概要

東日本大震災後の子どもたちの健康課題へ対応するため、部局連携により、家庭・学校・地域が一体となって食育推進体系を再構築し、指導者の育成や派遣、「食」体験・交流の取組を通して、「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備に努めた。

【取組内容】 ・スリムアップイベントの開催  
・ふくしまっ子ごはんコンテストの開催 等

### 2 お問い合わせ先

福島県保健福祉部 健康増進課（TEL：024-521-7640）

福島県教育庁 健康教育課（TEL：024-521-8409）



小学校上学年の部  
最優秀賞

## ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業

### 1 事業概要

小・中学生が県内3地域の商店街で訪問調査や商店街マップの作成、仕事体験等を行い、商店街に賑わいを取り戻す方法について検討し、実現した。



### 2 お問い合わせ先

福島県商工労働部 商業まちづくり課 (TEL: 024-521-7126)

## ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

### 1 事業概要

被災した親子に本とのふれあいを通じて心を癒やしてもらうため、絵本や児童書の読み聞かせなどを行った。また、高校生が自ら進んで読書に親しむきっかけをつくるとともに、望ましい読書習慣形成に寄与することを目的に、ビブリオバトルを開催し、情報発信能力の向上を図った。

### 2 お問い合わせ先

福島県教育庁 社会教育課 (TEL: 024-521-7799)

## ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業

### 1 事業概要

国際社会に貢献できる人材を育成するため、学校の教育活動の一環として実施する海外ホームステイ研修や海外からの高校生の招へいを伴う国際交流に参加する高校生を対象に旅費の一部を支援するとともに、研修に参加した経験やふくしまの将来像、国際理解や国際協力、さらに子ども支援基金寄附者に対するメッセージ等を県内外に発信するため、英語プレゼンテーションを実施した。

### 2 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課 (TEL: 024-521-7773)

# 寄附をくださった皆様へのメッセージ

給付金をお届けしている児童・生徒や保護者の方々から、寄附をくださった方へ寄せられたメッセージをご紹介します。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

震災から6年が過ぎ、七折八折な方々も  
 クロ回忌も迎えた3/11。  
 今も援助ありがとうございます。  
 多くの子ども達は、いろいろな事に、ぶっか  
 前に進んだり、大きく伸びたと思えます。  
 「絆」の言葉もたくさん使われ、人との  
 かかわりも(出会い、別れ)たくさん  
 経験しました。「あ、り、が、と、う、ご、ざ、い、ま、す」

学校 小学校・中学校・高校・その他(大学生)  
 学年 3 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

震災時の災害当初からの御支援、  
 本当にありがとうございます。  
 子ども達も学校生活を不自由なく  
 楽しく過ごせることに感謝してあり  
 ます。長期間にわたり支えてくださ  
 った方々に恩を返しでもお返しできる  
 ように将来に役立てていきたいと思ひます。

学校 小学校・中学校・高校・その他(幼稚園)  
 学年 3 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつも、ごしんとご寄附ありがとうございます。  
 中学校へ入学し部活に入り、必要な物材たくさんあり  
 ました。それも、不自由なくそろえることができ  
 ました。  
 また、両親は他界してしまいましたが友達と遊  
 び来て、みなさんからの寄附もいただいて、今は楽しい  
 毎日を送っています。私も大人になったら、お世話にな  
 る子供たちに寄附してあげられるようになりたいです。  
 本当にありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )  
 学年 1 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。  
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

自分たちのために、このお金のことを  
 していたとき、とてもありがたいとい  
 う気持ちでいっぱいでした。しかしと  
 考え、進路選択を実現できる  
 ように努力したいと思ひます。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )  
 学年 1 年生 ※お名前を書く必要はありません。

寄附をくださった皆様へのメッセージ

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。

(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いとお世話になりました。大変感謝致しております  
早稲田。あの震災から6年と4ヶ月が  
たつと12月です。  
当時、中学7年生(長谷川)の娘もあかせがね。  
科大で卒業予定です。お礼です。  
格別ご支援の寄附金になりました。次は  
これにこたえたいです。  
あつちで、皆様と一緒にがんばりたいと  
思っています。  
「本当にありがとうございます。」

これからいろいろあつかいしたいと思います。  
頑張る生きてゆこうと思っております。

(よくお禮、致しませう...)

学校 小学校・中学校・高校・その他( 大学 ) 母

学年 〇 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。

(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

「支援ありがとう」「いいよ  
震災時14年ぶりに戻りも20年になり  
成人式を迎えることができました  
工業高校へ進学し、この希望で、卒業後  
20km圏内で臨時校舎に実習施設は無く  
入学して実習等は出来ないと説明が  
地元の特設高校へ進学しました  
大学は希望通り工業系は世の中  
自然エネルギー、ソーラー発電の効率の  
実習等、充実した学生生活を送りたい  
お礼を述べたいです。ありがとうございました  
たくさんの方が応援してくださること  
本当に感謝です。と話ししています  
本当にありがとうございます。」「いいよ」

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 〇 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。

(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

今年も僕のために寄附をしていただきありがとうございます。

高校1年生になり、学校生活を楽しく過ごしています。

テストも近づき勉強を頑張っています。

文芸部に入った僕は、小説を書いています。

毎年支援いただくことは、当然のことでは  
と私に伝えています。私自身働くこと子育て  
で一杯の毎日の為、震災のことを思ふ時間が  
多いのが正直なところです。忘れては行かぬし、  
こうして支援してくださっていることの感謝も忘れ  
ず伝えています。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 1 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。

(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつも応援してくださりありがとう  
ございます。僕の学校生活は、部活動や色々な行事でいそが  
しく、すごしています。  
今の目標は、新人戦で地区優勝  
することです。そのためには夏休  
みの練習を頑張りたいです。

学校 小学校・中学校・高校・その他( )

学年 2 年生 ※お名前を書く必要はありません。

## 寄附をくださった皆様へのメッセージ

心の温まるご支援、大変感謝申し上げます。  
 東日本大震災発生から7年目になりました、あまりにも月日がたつのが早く過去の事が止まったままの気持ちが続いております。  
 日頃 寂しさをみせない娘が一人暮らしをする数カ月まえから、お母さんとの思いでの話したり また私に問いかけたり事が、多くあり、自分の気持ちを抑えてたと思っております。  
 娘は、自分のやりたい事にチャレンジをする事が前向きで、親として活力をもらい娘を見守り、心の復興と未来へ少しスタートしました。

多くのご支援御礼申し上げます。ありがとうございました。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。

(いただいた内容は県ホームページなどへおのせることがあります。)

いつもご支援ありがとうございます。僕は野球部でがんばっています。これからもよろしくお願ひします。

学校 小学校・中学校・高校・その他 ( )

学年 2 年生 ※お名前を書く必要はありません。

### ◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。

(いただいた内容は県ホームページなどへおのせることがあります。)

いつも、ありがとうございます。高校では、バドミントン部に入門したため、生活費がかかっていたが、ラケット、シューズ、ウェア などの費用が大変で、支援のおかげで、不自由なく生活ができました。部活動は終了してしまいましたが、ここからは進学するためにがんばりたいと思います。本当にありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他 ( )

学年 3 年生 ※お名前を書く必要はありません。



ふくしまから  
はじめよう。

平成29年7月発行

**福島県 子ども未来局 子ども・青少年政策課**

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話：024-521-7198

E-mail:kodomoseisaku@pref.fukushima.lg.jp

福島県庁ホームページ

[ふくしま子ども寄附金](#)

[検索](#)